

## 1. 準備

### ①パソコン

日本語 WindowsXP(SP2)が動作するスペックのパソコンをご用意下さい。

推奨スペックは以下の通りです。

CPU : Intel Core 2 Duo 2GHz 以上

メモリ : 2GB 以上

HDD : 10GB 以上の空き

USB : 2.0 で 4 ポート以上、もしくは SVI-03 台数分接続できる USB2.0Hub

### ②SVI-03

1 台の PC に複数台の SVI-03 ボードを接続する場合は、SVI-03 ボード上のディップスイッチ S2 にて番号設定が必要です。1 台の PC には最大 4 台まで SVI-03 を接続できます。ディップスイッチ S2 の 3 番、4 番で 4 通りの番号付けができます。

ボード番号	S2-3	S2-4
0	OFF	OFF
1	ON	OFF
2	OFF	ON
3	ON	ON

ボード番号が同じ SVI-03 を 1 台の PC に接続した場合は、動作を保証できませんので、ご注意下さい。

## 2. SVI-03 ボードの接続

①PC の電源を入れ Windows を起動します。

②SVI-03 ボードを PC の USB2.0 ポートもしくは USB2.0Hub に接続して下さい。

③SVI-03 ボードの電源を入れてください。

④ドライバのインストールを要求してきますので、SVI-03 ボードに付属する CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットし、ドライバのインストールを行って下さい。

⑤②から④の手順で複数台の SVI-03 を PC に接続し、それぞれドライバをインストールして下さい。

※一度接続した SVI-03 はなるべく USB ポートを変更しないようお願いします。USB ポートを変更することにより、再度ドライバのインストールが必要になるからです。

### 3. アプリケーションのインストール

①SVI-03 ボードに付属する CD-ROM 内の APPL フォルダを接続する SVI-03 の台数分コピーして下さい。

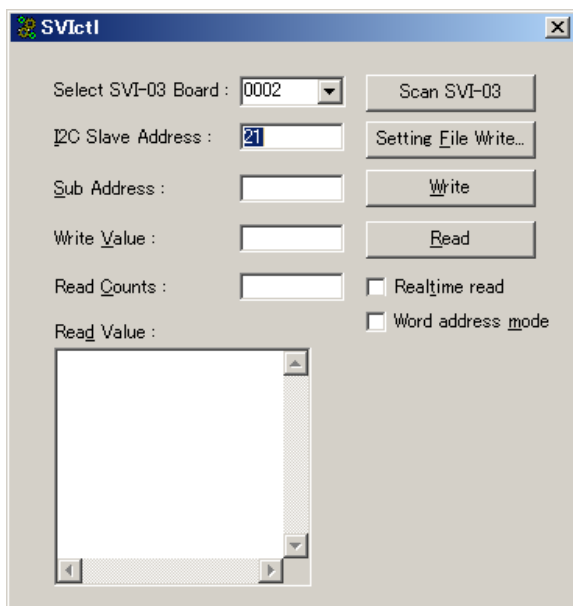
例えば 3 台の SVI-03 を接続する場合、以下のようにフォルダを作成してコピーして下さい。

¥CD-ROM¥APPL	→	¥HDD¥APPL0
	→	¥HDD¥APPL1
	→	¥HDD¥APPL2

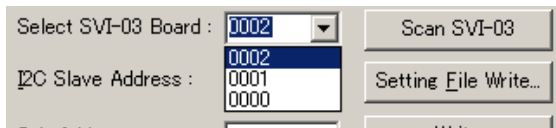
### 4. カメラコントロールアプリケーションでカメラを起動

①上記の各フォルダにある SVIctl.exe というアプリケーションを起動します。

②下図の SVIctl 画面が開きます。



③”Select SVI-03 Board”のコンボボックスで SVI-03 ボードを選択します。

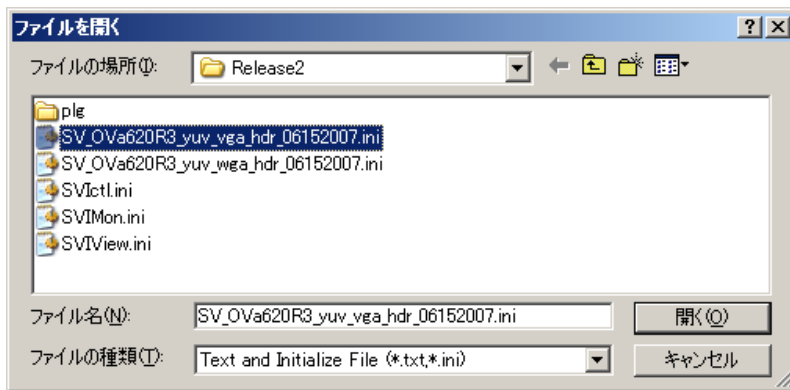


APP0 フォルダで起動した SVIctl.exe ではボード番号”0000”を選択して下さい。

コンボボックスに”None”と表示されていれば、SVI-03 ボードが接続されていないか、SVI-03 ボードの電源が入っていないことが考えられます。

④”I2C Slave Address”にカメラのスレーブアドレス（7bit）を 16 進数で入力して下さい。

⑤”Setting File Write”ボタンをクリックして、カメラの初期設定ファイルを指定し、カメラへ送信して下さい。下図では SV\_OVa620R3\_yuv\_vga\_hdr\_06152007.ini という初期設定ファイルを選択し、”開く”ボタンをクリックすることで、カメラへ設定ファイルの内容が送信されます。



エラーメッセージが表示された場合、カメラの接続、SVI-03 ボードのボード番号などを確認して再度、初期設定ファイルを送信して下さい。

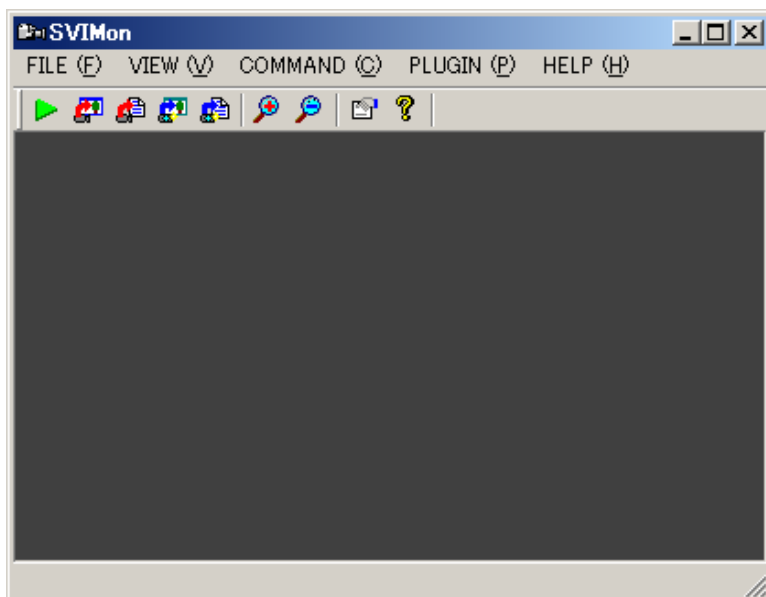
⑥正常に初期設定ファイルが送信されれば、SVI-03 ボードの”VSYNC”LED が点滅します。但しフレームレートが高速だと薄く点灯状態のように見えることがあります。

⑦上記手順を SVI-03 の台数分繰り返します。

## 5. カメラからの画像を受信して表示

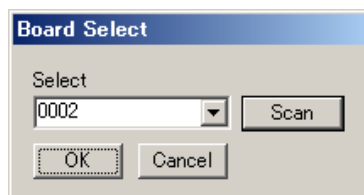
①各 APPL フォルダにある SVImon.exe というアプリケーションを起動します。

②下図の SVImon 画面が開きます。

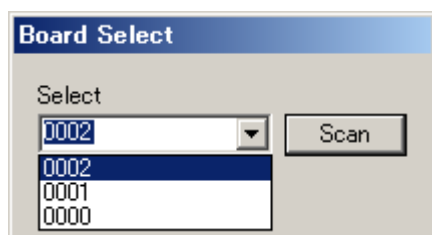


③”COMMAND”メニュー内の”Board Select...”メニューをクリックします。

④下図のダイアログボックスが表示されます。



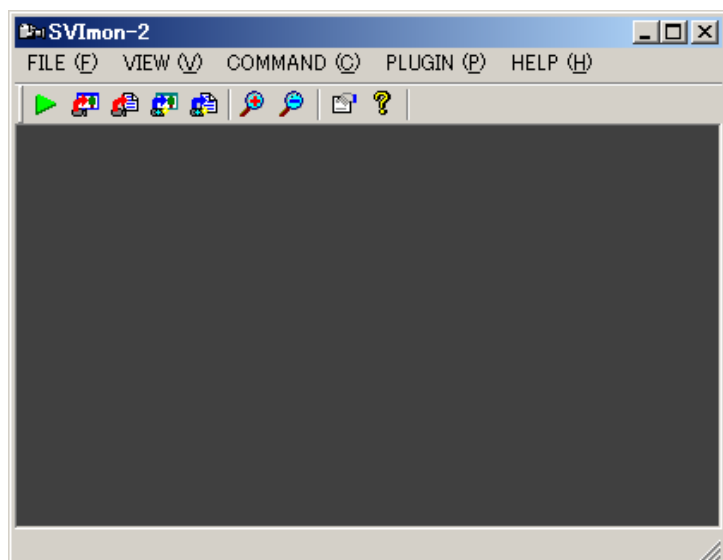
⑤”Select”のコンボボックスで SVI-03 ボードを選択します。



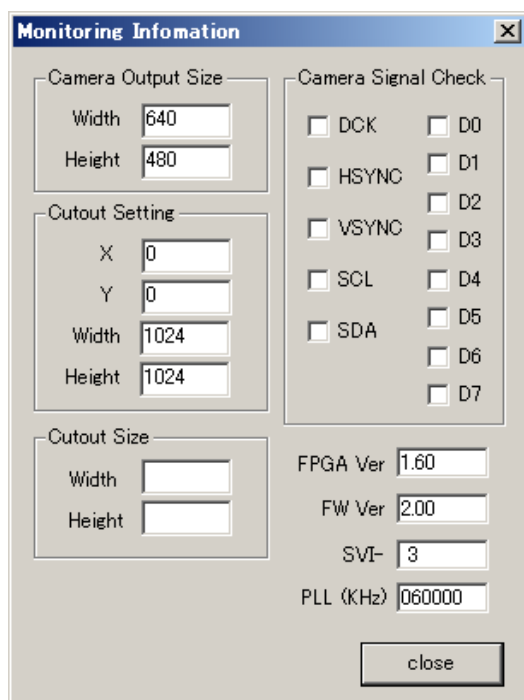
APP0 フォルダで起動した SVImon.exe ではボード番号”0000”を選択して下さい。

コンボボックスに”None”と表示されていれば、SVI-03 ボードが接続されていないか、SVI-03 ボードの電源が入っていないことが考えられます。

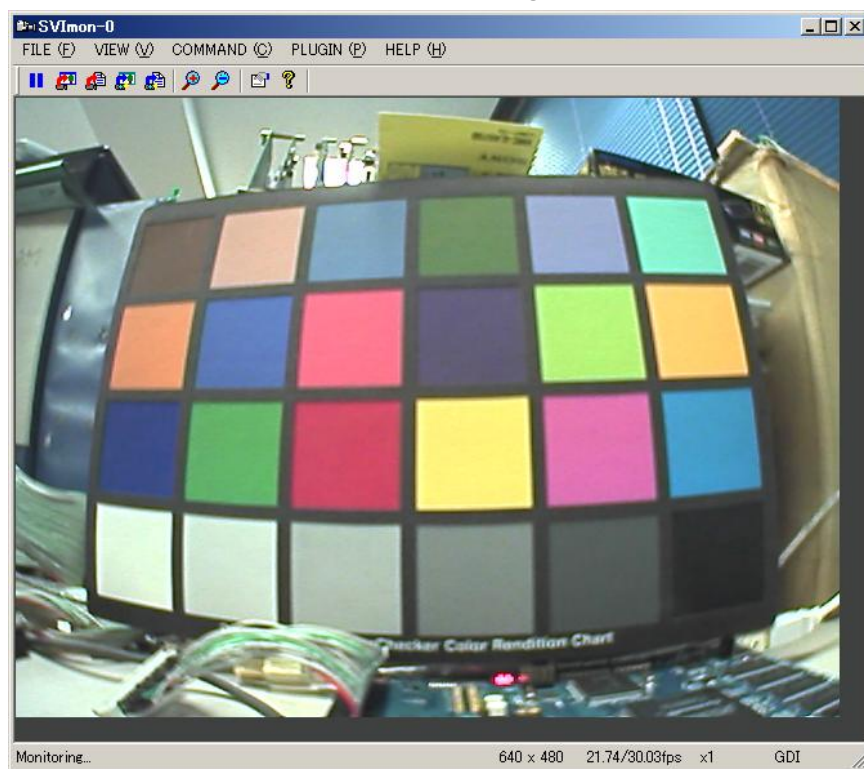
⑥”OK”ボタンをクリックして、SVI-03 ボードの選択を終了します。”0002”を選択した場合は、ダイアログボックス終了後、SVImon ウィンドウのタイトルバーが下図のようになります。”SVImon”の後ろに選択した番号が付加されます。



⑤”VIEW”メニュー内の”Monitoring Information...”メニューをクリックします。下図のダイアログボックスが表示され、受信している画像のサイズや SVI-03 ボードのバージョン情報などが確認できます。確認が終了したら、”close”ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じて下さい。



⑥”COMMAND”メニュー内の”Monitoring Start”メニューをクリックします。



カメラより受信している画像がウィンドウ上の表示されます。ステータスバーには画像サイズ、表示フレームレート、カメラ出力フレームレート、表示倍率などが表示され確認できます。

⑦上記手順を SVI-03 の台数分繰り返し、全てのカメラからの画像を表示します。

## 6. 終了手順

- ①SVImon.exe を終了します。”FILE”メニュー内の”Exit”メニューをクリックし、SVImon.exe を終了します。接続台数分の SVImon.exe を同様に終了します。
- ②SVIctl.exe を終了します。”X”ボタンをクリックし、SVIctl.exe を終了します。接続台数分の SVIctl.exe を同様に終了します。
- ③各 SVI-03 ボードの電源を切ります。
- ④パソコンの電源を切ります。

## 7. 注意事項

- ①SVI-03 ボードをマルチで動作させる場合は、上記手順をお願いします。
- ②SVImon.exe にはヘルプファイルがありますが、マルチ対応機能はまだ追記されていません。
- ③SVI-03 ボードのマニュアルは CD-ROM の DOC フォルダに格納されていますので、詳細はご覧下さい。
- ④SVImon.exe、SVIctl.exe のマニュアルは CD-ROM の DOC フォルダに格納されています。但し、マルチ対応機能はまだ追記されていません。
- ⑤SVI-03 マルチ対応機能はまだβ版レベルです。今後完成度を高めていきますので、今しばらくは上記手順での動作をお願いします。完成版が出来次第リリースをしていく予定です。